

## 教師教育コンポーネントの活動状況（2016年10月）

### 教員養成課程整備への支援

本活動では、教員養成校（Education College）で養成される新任の教師が新しい初等教育の狙いや特徴を理解し、新しい初等教育が目指す教育を現場で展開できるようになるための資料作りを行っています。現在の教員養成校の授業は理論的な内容に偏りがちで、実際に現場で教えるための教科知識やノウハウが十分でないという課題がありますので、より実践的な授業を行うことを念頭に、まずは取り上げるべき内容の洗い出しとその構成案の検討を開始しました。現在の教員養成校における小学校教員養成課程は1年間で、授業数は非常に限られていますので、限られた時間の中で新しい初等教育の内容を展開するのは容易ではなく、内容の吟味と分かりやすい構成作りが不可欠となります。また、新しい初等教育では9教科（10科目）が等しく重要な教科であることが強調されていますが、これまでのミャンマーでは体育、音楽、図工が軽視される傾向にあり、これらの科目を教えている小学校は非常に限られていました。このため、こうした分野の学習経験のない学生が教員養成課程に入学する上、教員養成課程でもこれまで十分に扱われてきませんでした。従ってこうした分野の教授法を確立し、新しい教員がそれを身につけるようになることは、新しいチャレンジであると言えます。今後は洗い出した内容と構成案をさらに練り上げ、具体的な資料の中身の作成に進んでいく予定です。



教材作りについて議論するカウンターパート

### 現職教員対象の新カリキュラム導入研修への支援

小学校1年生の教科書が完成し、いよいよその新しい教科書を現場の先生方にお披露目する機会（新カリキュラム導入研修）が近付いてきました。今回はこれまでにはなかった21世紀型スキル等の新しいコンセプトが導入されますし、全ての教科の教科書が新しくなりますので、現場の先生方にとって極めて重要な研修となります。そのため、担当する学年に関わらず全ての小学校教員が新しいカリキュラムについて理解することを目的とした研修を行います。現在ミャンマーには30万人以上の小学校教員がいますが、各地域でトレーナ

一を選出し、中央研修、州・管区研修、タウンシップ研修、学校クラスター研修と4つの段階（カスケード）に分けることで、短期間に全教員を対象とすることを可能にします。2017年1月の研修開始に向けて現在は研修資料の開発を行っています。座学だけではなく様々な活動を取り入れた実践的な内容になる予定です。非常に大規模な研修になるため、今後は研修プログラムの妥当性を検証するためのトライアウトを繰り返し行い、分かりやすく質の高い研修になるよう工夫していきます。



導入研修で紹介する新しい授業ビデオのひとコマ

文責：教員養成研修計画/教材作成担当 川島加奈恵